



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 日本エアテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6291 URL https://www.airtech.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平沢 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 渡辺 直樹 TEL 03 (3872) 9192
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	8,411	68.2	1,480	329.0	1,665	239.4	1,174	222.3
2020年12月期第2四半期	5,001	0.6	345	45.2	490	30.2	364	28.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	113.66	113.14
2020年12月期第2四半期	37.97	37.75

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	19,582	13,058	66.5	1,255.87
2020年12月期	18,829	12,164	64.4	1,174.55

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 13,026百万円 2020年12月期 12,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	33.00	33.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期(予想)	-	-	-	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	1.7	1,580	11.7	1,760	12.6	1,220	7.4	118.07

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 1株当たり当期純利益については、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行及び従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての新株式の発行により、発行株式数が34,700株増加したこと等により110円75銭から修正しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	10,447,200株	2020年12月期	10,403,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	74,709株	2020年12月期	75,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	10,332,077株	2020年12月期 2 Q	9,594,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により大きな影響を受けており、緊急事態宣言等の発令やワクチン接種開始にもかかわらず波状的な流行が継続し、幅広い業種において企業活動の制限が長期化しております。また、半導体の需要が大きく拡大する中、米中貿易摩擦に端を発した半導体供給不足の長期化が予想されており、自動車及び電子機器をはじめ多様な産業における生産の一時的な停滞を引き起こしております。それに加え米国・中国の景気急回復による原材料（鋼板、銅等）の価格高騰、ナイロン材料不足による各種電気部品の品薄状態及び東南アジア各国の感染拡大による各種部品の供給遅延が発生しています。

当社における事業環境は、海外においては依然として渡航出張が困難な中、限定的な出張に加え、主にオンライン方式による技術支援及び現地作業支援を実施しております。

国内においては厚生労働省の2020年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金による感染症対策用設備整備が本年3月末日をもって終了しました。そのため4月以降感染症対策機器の導入が大幅に減少したものの、各地方自治体独自の財源及び新たな同種の交付金を背景にした導入は一定程度継続しております。今後もクラスター発生子防等の対策として、室内空気清浄化の必要性は継続すると考えられます。さらに納入済空気清浄装置及び安全キャビネット等のHEPAフィルター交換需要を喚起しつつ、営業を強化しております。バイオリジカル分野では新型コロナウイルス対策機器の拡販以外では、医薬品工場の設備投資が堅調です。食品工場、化粧品工場、研究施設における年内の設備投資はやや停滞しておりますが来期分の引合い及び受注は活発です。

一方電子工業分野では、半導体・電子部品関連は堅調ですが、自動車部品の設備投資関連受注には一部停滞が見られます。

販売代理店を対象に例年開催していた製品説明会を、本年は6月に当社として初めてオンライン方式にて実施し、全国各地の多数の電子及びバイオ各分野の代理店へ配信しました。

製品の研究開発活動では、「バイオクリーンベンチ」のシリーズ化が完了し、「LED式バグキーパー」、「面会用ブース」等を上市しました。

生産においては、本年1月より操業を開始した越谷工場（埼玉県越谷市）では、4月以降より「エアシャワー」、「安全キャビネット」の生産に取り組んでおり、競争力のある製品作りを目指しております。

さらにフィルター需要の増加に対応すべく生産能力増強のため、HEPAフィルター及びPTFEフィルターを主とした生産工場の建設用地として、群馬県桐生市の武井西工業団地内に12,883㎡の区画を1億68百万円にて取得しました。今後総2階建て（延べ床面積、約3,000㎡）のフィルター専用工場を建設し、2022年7月の稼働開始を予定しております。

また、2021年3月29日の発行決議による、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行及び従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての新株式の発行に伴い、各々4月28日に1,200株及び6月25日に33,500株、合計で34,700株の発行を完了しました。

新型コロナウイルス感染症の収束時期はいまだ不透明であり、取引先及び従業員の安全を確保しつつ関連機器の受注と生産対応を継続してまいります。

製品別の販売状況は、「クリーンパーティション」「安全キャビネット」「無菌クリーンテント」「パッケージ式クリーンユニット（陰圧ユニット含む）」「フィルターユニット」「据付・保守サービス」等が増加しました。また、「エアシャワー」等は減少しました。

収益面におきましては、標準品の販売が増加したため、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高84億11百万円（前年同期比68.2%増）、営業利益14億80百万円（同329.0%増）、経常利益16億65百万円（同239.4%増）、四半期純利益11億74百万円（同222.3%増）となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は195億82百万円と前事業年度末に比べ7億53百万円(4.0%)の増加となりました。

流動資産は150億77百万円であり、前事業年度末に比べ4億87百万円(3.3%)の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が5億56百万円増加したことと、棚卸資産が1億43百万円減少したことによるものです。

固定資産は45億5百万円であり、前事業年度末に比べ2億65百万円(6.3%)の増加となりました。主な要因は、HEPAフィルター及びPTFEフィルターを主とした生産工場の建設用地取得に伴い土地が1億68百万円、越谷工場竣工に伴い有形固定資産が1億10百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は65億24百万円であり、前事業年度末に比べ1億40百万円(2.1%)の減少となりました。

流動負債は54億63百万円であり、前事業年度末に比べ2億15百万円(3.8%)の減少となりました。主な要因は、買掛金が2億67百万円減少したことによるものです。

固定負債は10億61百万円であり、前事業年度末に比べ75百万円(7.6%)の増加となりました。主な要因は長期借入金が97百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は130億58百万円であり、前事業年度末に比べ8億93百万円(7.3%)の増加となりました。主な要因は四半期純利益を11億74百万円計上したことによるものです。一方で主な支出は、配当金3億40百万円となります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ5億56百万円増加し、64億51百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動において得た資金は、10億98百万円(前年同期比4億85百万円の収入増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益16億65百万円の計上及び法人税等の支払額3億69百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動において使用した資金は、3億54百万円(同53百万円の支出増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億51百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動において使用した資金は、2億3百万円(前年同期は9億66百万円の収入)となりました。これは主に、配当金の支払額3億36百万円及び長期借入れによる収入1億50百万円があったことによるものです。

(4) 業績予想

2021年12月期の業績予想につきましては、現時点では2021年8月10日に発表した内容に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,520,039	7,076,814
受取手形及び売掛金	4,748,840	4,058,132
電子記録債権	1,206,374	1,935,638
有価証券	452	483
商品及び製品	840,165	925,932
仕掛品	870,751	568,423
原材料及び貯蔵品	387,413	460,375
その他	24,505	61,300
貸倒引当金	△8,947	△10,012
流動資産合計	14,589,596	15,077,087
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,055,014	2,226,684
その他	1,509,743	1,608,452
有形固定資産合計	3,564,757	3,835,137
無形固定資産		
	115,026	100,597
投資その他の資産		
その他	587,002	591,435
貸倒引当金	△26,824	△21,324
投資その他の資産合計	560,177	570,110
固定資産合計	4,239,962	4,505,845
資産合計	18,829,558	19,582,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,320,088	1,254,227
電子記録債務	2,327,072	2,396,046
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	44,268	74,256
未払法人税等	407,141	496,643
製品保証引当金	51,242	8,968
賞与引当金	108,522	106,752
受注損失引当金	4,109	7,342
その他	1,116,346	818,985
流動負債合計	5,678,790	5,463,221
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	163,035	260,913
退職給付引当金	701,519	679,061
その他	21,672	21,639
固定負債合計	986,227	1,061,614
負債合計	6,665,018	6,524,835

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,056,919	2,082,463
資本剰余金	2,098,251	2,124,221
利益剰余金	8,014,697	8,848,208
自己株式	△49,841	△49,196
株主資本合計	12,120,026	13,005,696
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,453	20,792
評価・換算差額等合計	10,453	20,792
新株予約権	34,060	31,609
純資産合計	12,164,540	13,058,097
負債純資産合計	18,829,558	19,582,933

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,001,920	8,411,789
売上原価	3,818,034	5,838,383
売上総利益	1,183,885	2,573,406
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	178,577	360,881
役員報酬	48,466	41,887
給料	262,383	273,172
貸倒引当金繰入額	△15,922	△3,459
賞与引当金繰入額	23,679	29,149
退職給付費用	16,045	17,068
製品保証引当金繰入額	△1,833	△42,274
その他	327,327	416,298
販売費及び一般管理費合計	838,724	1,092,724
営業利益	345,161	1,480,681
営業外収益		
受取利息	324	55
受取配当金	167,470	157,400
その他	7,074	34,356
営業外収益合計	174,869	191,813
営業外費用		
支払利息	1,196	1,236
株式交付費	12,574	—
為替差損	6,138	—
外国源泉税	9,116	4,828
その他	175	754
営業外費用合計	29,202	6,818
経常利益	490,828	1,665,676
税引前四半期純利益	490,828	1,665,676
法人税、住民税及び事業税	118,894	460,643
法人税等調整額	7,618	30,704
法人税等合計	126,512	491,348
四半期純利益	364,315	1,174,327

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	490,828	1,665,676
減価償却費	53,953	68,597
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,922	△4,435
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,737	△1,770
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,096	△22,457
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△470	3,232
受取利息及び受取配当金	△167,795	△157,456
支払利息	1,196	1,236
売上債権の増減額(△は増加)	203,747	△38,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	△279,434	143,600
仕入債務の増減額(△は減少)	455,526	3,113
未払金の増減額(△は減少)	△323,348	△153,106
その他	202,326	△164,843
小計	602,247	1,342,829
利息及び配当金の受取額	118,508	126,428
利息の支払額	△1,256	△1,333
法人税等の支払額	△106,588	△369,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	612,910	1,098,354
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△268,129	△268,141
定期預金の払戻による収入	268,108	268,129
有形固定資産の取得による支出	△259,129	△351,012
その他	△42,588	△3,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,739	△354,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	260,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△260,000
長期借入れによる収入	170,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△26,775	△22,134
配当金の支払額	△196,288	△336,524
株式の発行による収入	987,599	7,157
自己株式の処分による収入	31,980	820
その他	477	△2,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	966,992	△203,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,485	16,353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,272,678	556,794
現金及び現金同等物の期首残高	4,748,099	5,894,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,020,778	6,451,545

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2021年3月29日開催の臨時取締役会決議に基づき、取締役(監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。)に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行及び従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての新株式の発行による増加、並びにストック・オプションの行使に伴い、当第2四半期累計期間において資本金が25,544千円、資本剰余金が25,969千円それぞれ増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,082,463千円、資本剰余金が2,124,221千円となっております。